

世界のオープンデータ動向と 日本の位置 OKConとIGFからの考察

渡辺智暁

国際大学GLOCOM

2013.10.28. オープンデータ流通促進コン
ソーシアム利活用・普及委員会

会議概要 OK Conference

Open Knowledge Foundation 主催の会議

Okcon.org

9月16-18日 前イベント1日 後イベント1日

於：ジュネーブ

“Broad, Deep, Connected”がスローガン
オープンデータが主要トピック

他にCitizen Science、Open Culture等も。

(※OKFはオープンデータ限定の組織ではない為。)

参加者：OKF、政府、関係業界、関連NPO、など

会議概要 Internet Governance Forum

チュニジアにおける世界情報社会サミットを受けて国連事務総長の下に設置されたフォーラム。

igf2013.or.id

10月22-25日 前イベント1日 於:バリ

“Building Bridges”- Enhancing Multistakeholder Cooperation for Growth and Sustainable Development がテーマ。

インターネットに関する国際的政策 이슈が主なトピック。(各国の国内政策の情報交換や協調も含む。)

参加者: 政府、企業、NGO

国際的な動き：比較調査、連携

- Open Data Readiness by World Bank
 - Open Data Barometer by WWWF (6月-)
 - Open Data Census by OKF (2月-)
 - Sunlight Foundation (調達)
 - Aid Transparency Index by PublishWhatYouFund(13年度版作成中)
 - Open Budget Survey by Int'l Budget Partnership
 - OGPの進捗評価の議論も
-
- Global Open Data Initiative (6月-)
 - G8サミット(7月)
 - Post-2015 Global Development Frameworkの”data revolution”提案(5月)
 - WB, ODI, OKF 提携の途上国向けプロジェクト(9月)

英国の存在感

G8議長国

Open Government Partnership 議長国

IATI (International Aid Transparency Initiative)の設置時サポーター

PSI指令改訂前から優れた体制づくり

ODI設置

ライセンス改訂

政府データの包括的カタログ作成に着手

ハッカソン再考

ハッカソンの効果・意義は何か？

「メンバーの調達に」

「プロジェクトの広告に」

「データの品質改善も」

「搾取になっていることも」

広報・告知効果	○
開発者へのリーチ	○
官民交流	○
プロジェクトの強化	○
開発者間のネットワーキング	○
大ヒットサービス、アプリ開発	△
活動の持続性	△
経済効果	△

効果を上げる工夫

- ・コンテスト型：長期間にわたる活動にする
- ・企業、メディアとのタイアップ
 - 優秀なアプリをピックアップ
 - (WB、SNCF、Dataconnexions、Guardian+PWYF、)
- ・課題募集型：メディア経由で質問を広く受け付ける →分類 →解決
策の考案 →開発 →報道
- ・受賞企業がIT系メディアで報道されるイベント
- ・大企業が、優秀なチームとコラボ →アプリ開発

- ・インキュベーション(ODI)
- ・ユーザーと開発者の長期コラボによる開発(Code4EU)
- ・フルセットの事業開発：データサイエンティスト、受益者のワーク
ショップ→実施NGO、資金提供者への接触→一般企業の巻き込み
(TechSoup Global)

経済効果補足・測定をめぐる問題

- B2B系はB2C系の10-100倍との説も。社内利用もある。
- モバイル・アプリよりも大きな市場が、補足しづらいところにある。
- NZはACIL Tasman委託の調査を公開準備中
- 国際会議、官民交流などを通じた利用例の地道な収集が重要との見方も。

経済効果

効果の大きな例

- 交通（英国）
- 薬品（英国）
- アドレス情報（オランダ）
- Zillow – “the first open data billionaire”

日本の位置

フロントランナーか、第2グループか

- 1) 大規模な実施、高いリスク→予定外の効果
- 2) 効果予想に基づく実施、低いリスク→想定内の効果

フロントランナー型になるには、政治のリーダーシップ、強力な推進体制、官民連携、企業・市民セクターの関心、などが不可欠。

→日本はこの2年ほどの間に大きく向上。

ご清聴ありがとうございました

watanabe at glocom dot ac dot jp